

◆1年・社会科・シラバス

令和7年度更新

月		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4		オリエンテーション			
4	歴	第1章 歴史のとらえ方・調べ方	年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。		歴史学習に向けて、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	地	第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5 ・ 6	地	第1部 世界と日本の地域構成 第2章 日本の姿	我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。	日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
6 ・ 7 ・ 8	歴	第2章 原始・古代の日本と世界	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にここに見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	地	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

月		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10 ・ 11	歴	第3章 中世の日本と世界	鎌倉幕府の成立、元寇などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解している。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
11 ・ 12 ・ 1 ・ 2	地	第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域	世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2 ・ 3	歴	第4章 近世の日本と世界 *～第2節	ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。